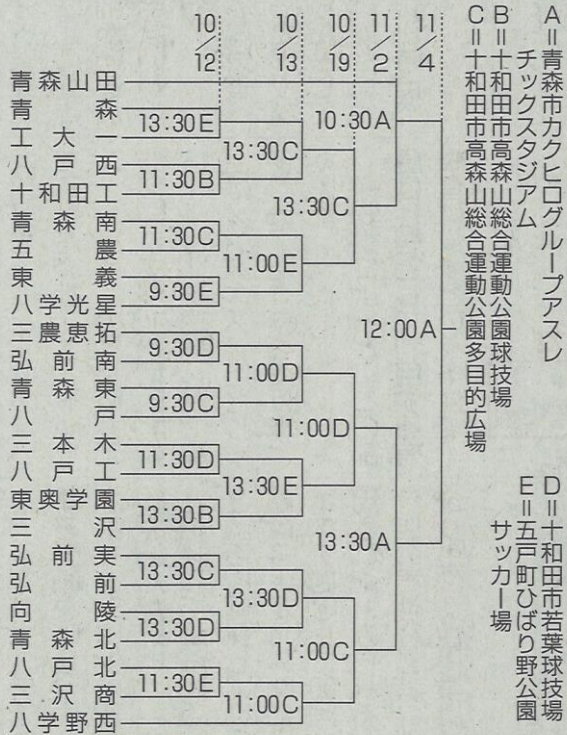


第103回全国高校サッカー選手権青森県大会組み合わせ



# 高校サッカー青森県大会 24校対戦カード決まる

第103回全国高校サッカー選手権青森県大会の東京・国立競技場など2次予選の組み合わせ抽選会が18日、青森市内で開催された。出場24校の対戦カードが決定。夢舞台の東京・国立競技場など2次予選には、今夏の県高校総体8強、高田宮杯の県リーグ参戦で1次予選を免除された6校、8月の1次予選を通過した10校の計24校が出場する。前回大会で2年ぶり4度目の日本一を達成し、県大会27連覇中の青森山田は準決勝から登場。県高校総体準Vの八学野西は2回戦で八戸北一三沢の勝者と、同3位の三農恵拓は1回戦で弘前南とそれぞれ対戦する。

開会式は10月11日。弘前の山本竜誠主将（2年）が選手宣誓を務める。十和田市、五戸町の4会場、同日12、13、19日に3回戦までを実施。準決勝は11月2日、決勝は同4日で、いずれも青森市カクヒログループアスレチックスタジアムで行う。抽選会では、各主将が抱負を語る場面もあり、昨年の県大会決勝で青森山田に0-9の大敗を喫した八学野西の堀田一希主将（3年）が「昨年は

大敗して悔しい思いをした。今年は優勝して歴史をつくる」と、絶対的王者を倒そうと燃えていた。（磯野雄太郎）